

アンデルセンが愛した景色：
むかしは船乗り達の溜まり場 今まちで一番の魅力ある水辺に



2018年8月（デンマーク・コペンハーゲン・ニューハウン Nyhavn）

◆町並み・遊歩道・船溜まりが一体の風景

18世紀につくられたカラフルな建物が並ぶニューハウン（新しい港）は、延長400mで幅15m程度の細長い運河港が特徴ですが、いまはヨットが浮かぶ美しいハーバーとなっています。

◆レストラン立ち並ぶ賑わい拠点

運河沿いには一軒ずつ色の異なる木造家屋が並んでいます。現在でも、建築物保護法による（景観）保存地区に指定されていることで、所有者に対して固定資産税の免除と修理費の補助を行うことで、歴史的な建物外観が維持されています。

岡村幸二（JRRN会員）